

第5学年 外国語活動指導案

指導者 ○○ ○○
G T ○○○○

1. 題材名 「外来語を知ろう」

2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、明るく素直である。男子は、とても活発な児童が多く、女子は真面目で控えめな児童が多いというように、男女の性質に差異は見られるが、男女仲が良く、人間関係は良好である。

外国語活動の時間においては、英語の歌をロズさんたり、ALT の話に真剣に耳を傾けたりしながら、ゲームなどに意欲的に取り組んでいる児童が多い。特に、GT との学習時には意欲的に取り組み、GT の話を、ジェスチャーや知っている単語から推測し、理解しようとする姿勢が見られるようになってきた。また、給食の時間にGT が来ると、英語であいさつをしたり、英訳を聞きに行ったりする児童もおり、英語に親しんでいる様子が見られる。それに伴い、授業中に、積極的に挙手や発言をする児童も増えており、英語を口に出すことへの抵抗感も少なくなってきたように感じる。しかし、英語らしい発音をすることには、恥ずかしさを感じている児童が多いようである。また、英語による恥ずかしさに併せ日本語でも自分から声をかけにいくことができない子や特定の子ばかりに声をかけない子もいる。

よって、本単元では、積極的にコミュニケーションを図りたいと思うような、興味・関心のある題材を選び、フルーツパフェを作ろうという活動を仕組むことで、1対1でのコミュニケーション活動をさかんにさせたい。

1学期末にとった外国語活動の学習へのアンケートでは、外国語活動の学習が好きではないと答えた児童が1名いた。その理由は、「何と言っているのか分からない」というものだった。このような児童に、「外国語活動は楽しいものだ」と思わせるようにジェスチャーなど非言語コミュニケーションの部分も有効に活用した授業を計画したい。

- 本単元では、「身近な外来語に興味を持つ」こと、「積極的に好きなものを尋ねたり、注文したりする」こと、「日本語と英語の発音の違いに気づく」ことを目標としている。

普段、英語だと思って使っている言葉「シュークリーム」や「ナイター」が英語ではないこと、「テレビ」など和製英語として使っている言葉の発音が、本当の英語の発音とは違うことを知ることは、子どもにとって興味をひく内容である。

また、レストランでの注文は、子どもにとってなじみ深く場面を想像しやすいという利点がある。レストランでの注文から、フルーツパフェ作りにつなげることもできる。

- 指導にあたっては、まず、日頃「英語で何ていうのだろうか？」と疑問に思っている物を英語で尋ねるといった活動を通して、身近な外来語に興味を持たせたい。その際、子どもたちが英語だと思っているものを、担任がGTに尋ねるが伝わらないという場面から、より興味を持たせたい。その後、毎時間、GTへの質問タイムを設けることで日常的に英語のことを意識するようにさせたい。

積極的に好きなものを尋ねたり、注文したりする場面では、レストランという子どもに分かりやすい状況を設定することで、興味を持たせる。チャンツで繰り返した後に、1対1でのコミュニケーション活動をさせることで、英語に対する抵抗がなくなると考える。レストランでの注文に慣れた後に、フルーツパフェを作る活動に入ることで、スムーズに活動に移れるだろう。

フルーツパフェを作る際は、子どもがより興味を持って活動できるように、教師がシールを用意しておき、子どもが実際に器の絵に貼らせていきたい。

3. 目標

- 身近な外来語に興味を持ち、日本語と英語の発音の違いに気づく。
- 積極的に友達と会話のやりとりをしたり、自分の考えを伝えたりする。

4. 単元構成・評価規準（全3時間 ○は本時）

時	ねらい	活動 / 評価規準	表現例
1	外来語とそのもととなる語とでは、音が違うことに気付き、英語の音に気をつけて発音しようとする。	活動名 「身近な外国語を探そう」 「キーワードゲーム」 評価規準 GTの先生の発音を真似て、発音しようとしている。	guitar, gorilla kangaroo, TV glove, piano 等 How do you say ○○ in English.
2	レストランでの注文の仕方に慣れる。	活動名 「クエスチョンタイム」 「Let's Chant」 「英語ノート p38 Let's Listen」 評価規準 レストランでの注文の仕方に慣れ、ゲームを楽しんでいる。	What do you want ? ○○,please. Here you are. Thank you.
③	注文したり、答えたりして、オリジナルフルーツパフェを作り、紹介し合う。	活動名 「フルーツパフェをつくろう」 「誰のフルーツパフェか当てよう」 評価規準 フルーツパフェを作る活動を通して、友達とコミュニケーションを楽しんでいる。	What do you want ? ○○,please. Here you are. Thank you. I like ～～.

5. 本時

10月19日（月）5時間目 場所 ○○小学校 ランチルーム

6. 本時の目標

- 積極的に注文したり、答えたりして、自分のオリジナルフルーツパフェを作りながら友達とコミュニケーションを楽しむ。

7. 本時指導の考え方

子どもたちは、本時までにはレストランでの場面を通して、ほしい物を注文することを行ってきた。そこで本時は、欲しいものを要求して、自分のフルーツパフェを作り、紹介しながら、友達とのコミュニケーションを楽しんでいることをねらいとしている。

本時では、オリジナルのフルーツパフェを作る活動の際の子どもたちの姿を中心に見取っていく。観点は次の2点である。まずは英語を使って自分の欲しいものを伝えようとしているか、そして相手と目を合わせて伝えあうことができたか、である。うまくできていない子どもには、横から一緒に言ってあげることができるようにHRTとGTで見て回る。また、上手にコミュニケーションしている子どもをほめていく。

そのために、次の授業の流れと手立てを考えている。

まず、身近な外来語や本時に関わる単語の発音を確認するため、GTに質問をするクエスチョンタイムを行う。ここでは、GTに自分から質問をすることで、外国人とのコミュニケーションに対する前向きな態度を養う。さらに、身近な外来語が実は英語ではないことに気づき、さらに英語に興味を持たせるようにする。異文化コミュニケーションの活動でもある。

次に、オリジナルのフルーツパフェを考え、紹介する活動を行う。ここでは、自分の欲しいフルーツをもらうために英語を使ってコミュニケーションし、さらに自分のフルーツパフェを紹介するために英語を使ってコミュニケーションする。まずは自分の作りたいフルーツパフェの材料を集めるために、友達と何度も英語を使ってコミュニケーションする。ここでは、必要なフルーツの数だけ友達と何度も会話をしていかなければならない。相手にきちんと伝わることと、たくさんの友達と伝えあうことにコミュニケーションのポイントを置いている。そして、出来上がったフルーツパフェを、はじめはグループで、そして全体に対して英語で紹介する。パフェの名前や入っているフルーツなど、自分のパフェについて友達に伝える。友達に伝えるためには、英語だけでなく身振りや手振りを使って表現しようとするコミュニケーション力が必要になってくる。

さらに、GTの作ったパフェをいくつかの中から選ぶ活動をする。GTの感想や今までふれあってきたことを通じて、GTのパフェを考え、当てていく。そして、GTが伝える感想を子どもたちが聞きとろうとする。相手の言っていることを知ろうとするコミュニケーションの基礎的な力が養われる。

最後に振り返りカードに自分の学習をふり返って記入をし、授業を終える。

8. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 Hello. I'm ~. Thank you.	Hello.Everyone. How are you.	
ウォームアップ	2. 英語で何というのかを質問する。（クエスチョンタイム） How do you say ○○ in English.	・身近な外来語の言い方に興味を持たせるために、毎時間、クエスチョンタイムを設定する。	・絵カード
めあて確認	3. めあてを確かめる。		
コミュニケーション活動	4. フルーツパフェを作る活動のデモンストレーションを見る。 A:Hello! B:Hello,What do you want? A:Peach,please. B:Here you are. （シールを渡す。） A,Thank you. B:You're welcome. A:（台紙にシールを貼る。） 5. オリジナルフルーツパフェを作る。 ① 2グループに分かれる。 A:お客さん B:果物屋さん ②果物を買に行き、会話する。 ③自分のカードにシールを貼る。 6. 自分が作ったフルーツパフェを紹介し合い、誰のか当てる。 ●グループから全体へ My original parfait. I like apples,bananas,pineapples, and strawberries. This is my parfait. 7. GTのパフェはどれか当てる。 ①作った理由をGTから聞く。 ②GTの話聞き同じか考える。	○ 外国語に親しませるために、活動の仕方を日本語を使わず英語とジェスチャーによって示す。 ○ コミュニケーションがとりやすいように、シールを用意し、やりとりをさせる。 ○ 果物屋さんとお客さんが向かい合うような場づくりをする。 ○ まず小グループで発表の練習をし、次に全体の場で数名の子どもたちのパフェを採り上げ、誰の物かを当てる活動をする。	・台紙 ・フルーツシール フルーツパフェを作る活動を通して、友達とコミュニケーションを楽しんでいる。 ・全体説明用図 ・全体説明要図 ・代表の児童のパフェとGTのパフェの台紙を黒板に提示
ふりかえり	8. 振り返りカードを書く。 振り返りの質問にこたえる。 ①自分からすすんで英語で伝えましたか。 ②GTや友達と目を合わせてお話ししましたか。 ③友達のパフェを見て初めて知ったことや思ったことは何ですか。		
あいさつ	9. .あいさつをする。 Thank you very much.	That's all for today.	

1 時間目の展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 Hello. I'm ~. Thank you.	Hello.Everyone. How are you.	
ウォームアップ	2. 外来語について知り、 キーワードゲームをする。 How do you say ○○ in English? ※キーワードゲーム ① 2人が向かい合って座る。 ② 2人の間に消しゴムを置く。 ③ キーワードを決める。 ④ キーワードが出たら消しゴムを取り合う。	○ 外来語との発音の違いに気づかせるために、GTに質問し、発音を聞く。 ○ 外来語とその元の英語との音の違いに気づかせるため、GTが発音する。	・絵カード
めあて確認	3. めあてを確かめる。		
コミュニケーション活動	4. 外来語を探し、その発音をGTに確かめる。 ① 班で紙に書き出す。(絵を描く) ② 班毎に発表する。 ③ 英語での発音の仕方を、GTに尋ねる。 How do you say ○○ in English? 5. 外国から来ている食べ物の発音を確認し、どこの国から来ているかCDを聞いて考える。 ① 写真の食べ物の言い方を考える。～外来語か、英語か～ ② GTの発音を聞いて確認する。 ③ どこの国から来た食べ物なのかを予想する。 ④ CDを聞いて確かめる。	○ できるだけたくさんの外来語を見つけられるように、班毎の活動を仕組む。 ○ たくさんの外来語があることに気づかせるため、班毎に発表させる。 ○ GTとコミュニケーションをとるために、発音の仕方の分からないものをGTに尋ね確かめる。 ○ CDだけでなくGTの発音も聞く。また、GTの国で食べられるものかを聞き、参考にする。 ○ 英語ノートに書き込みながら学習を進める。	・白紙カード <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">自分たちの身の回りには外来語がたくさんあることに気づき、外来語に興味を持つ</div> ・パソコン ・プロジェクター ・スマートボード ・英語ノートCD
ふりかえり	6. 振り返りカードを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;">振り返りの質問にこたえる。 ① 自分からすすんで英語を使えましたか。 ② GTや友達と目を合わせてお話しましたか。 ③ 今日の学習をして初めて知ったことや思ったことは何ですか。</div>		
あいさつ	7. あいさつをする。 Thank you very much.	That's all for today.	

2 時間目の展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ	1. あいさつをする。 Hello. I'm ~. Thank you.	Hello.Everyone. How are you.	
ウォームアップ	2. 新しく外来語を見つけてきた子どもに聞く。 How do you say ○○ in English? 3. チャンツで発音とアクセントになれる。 ♪ What do you want? ♪	○ 外来語と英語との発音(言い方)の違いに気づかせるために、発音を聞く。 ○ CDをつかって、発音に慣れ親しませながら、動作を入れて口ずさむ。	・絵カード ・パソコン ・プロジェクター ・スマートボード ・英語ノートCD
めあて確認	4. めあてを確かめる。		
コミュニケーション活動	5. 友達と注文をしあう。 ①注文の仕方を確認し、全体で伝え合う。 ②友達同士で注文し合う。 S:shopkeeper C:customer C:Hello! S:Hello! What do you want? C:○○, □□ and △△, please. S:○○, □□ and △△.OK. Here you are. C:Thank you. S:You're welcome. ③デザート「フルーツパフェ」を注文して作る。 ・スマートボードを使ってやりとりをする。	○ 英語ノート P39 を開き、レストランの注文の場面であることを確認する。 ○ 食べ物の絵カードを掲示し、食べ物の名前を確認する。 ○ CDを聞いて、誰が何を注文しているのか確認する。 ○ 児童の欲しいものを個々に尋ね、児童はメニューから選んで答える。 ○ デザート作りとしてフルーツパフェを注文する活動を仕組む。	・絵カード 注文のやりとりを通して、友達の新しい面を知り、コミュニケーションを楽しむ。 ・パソコン ・プロジェクター ・スマートボード ・英語ノートCD
ふりかえり	6. 振り返りカードを書く。 振り返りの質問にこたえる。 ①自分からすすんで英語を使えましたか。 ②GTや友達と目を合わせてお話ししましたか。 ③今日の学習をして初めて知ったことや思ったことは何ですか。		
あいさつ	7. .あいさつをする。 Thank you very much.	That's all for today.	